

2022年10月14日

## 2022年度計量生物セミナー 「生存時間解析」

主催: 一般社団法人 日本計量生物学会

### 1. 概要

日時: 2022年12月8日(木), 9日(金) 午前

開催形式: ハイブリッド開催(現地・Zoom Webinar)

現地会場: 中央大学 後楽園キャンパス 5号館

(8日 AM・9日 AM: 5533 教室、8日 PM: 5335 教室)

<https://www.chuo-u.ac.jp/access/kourakuen/>

参加登録方法: オンラインポータルサイトから申し込み

ポータルサイトアドレス: <https://jbs-seminar.ywstat.jp/>

参加費: 日本計量生物学会員(一般) 5,000円

日本計量生物学会員(学生) 1,000円

日本計量生物学非会員(一般) 10,000円

日本計量生物学非会員(学生) 4,000円

定員(参加登録時の先着順): 120名(現地), 500名(Zoom Webinar)

オーガナイザー: 江村 剛志(久留米大学), 長谷川 貴大(塩野義製薬),

田栗 正隆(東京医科大学)

### 2. 内容・プログラム

<企画のねらい>

生存時間解析とは、明確な起点から特定の関心のあるイベントが生じるまでの時間という形のデータに対する方法論を提供する統計学の一分野である。例えば、がんの臨床試験においては、試験目的が抗がん剤などの治療法の評価であり、被験者の登録を起点として死亡までの時間を評価項目(エンドポイント)として扱うことが行われる。生存時間データの特徴は、試験終了や追跡不能等に伴う打ち切りデータが存在することであり、Kaplan-Meier法、log-rank検定、Cox比例ハザードモデルなどの打ち切りを適切に考慮した解析手法が用いられている。しかしながら、Cox比例ハザードモデルの前提である比例ハザード性が満たされない状況、モデルを誤特定した状況、がんの増悪と死亡などの複数のイベントや競合リスクが存在する状況などでは、それぞれの状況に適した方法を用いる必要がある。また、生存時間を評価項目(エンドポイント)とした臨床研究等のデザインを行う際には、事前に適切なサンプルサイズ設計を行うことも重要である。

本セミナーでは、生存時間解析に使用される統計手法について、基礎から近年注目され

ている RMST (restricted mean survival time) 等の発展的な内容まで、事例を含めて幅広く紹介・解説することを目的とする。

<プログラム>

	概要	時間	演者
<b>12/8 (木) 終日</b>	<b>1 日目</b>		
9:50~10:00	開会のあいさつ	10分	松井茂之 (名古屋大学/ 統計数理研究所)
<b>セッション名：生存時間解析の基礎</b>			
10:00~11:00	生存時間解析の基礎	60分	長島 健悟 (慶應義塾大学)
<b>セッション名：セミパラメトリック法</b>			
11:00~12:00	比例ハザード性を前提としないセミパラメトリック推測	60分	服部 聡 (大阪大学)
12:00~13:00	昼休み		
<b>セッション名：競合リスク解析・マルチステート解析</b>			
13:00~14:00	競合リスクがある場合の基礎的な解析方法	60分	西川 正子 (東京慈恵会医科大学)
14:00~14:25	マルチステートモデル 考え方編	25分	室谷 健太 (久留米大学)
14:25~14:50	マルチステートモデル 実装編	25分	斉藤 哲雄 (荒尾市民病院)
14:50~15:00	休憩		
<b>セッション名：多変量生存時間モデル</b>			
15:00~15:50	周辺モデル・Frailty・コピュラ	50分	江村 剛志 (久留米大学), 杉本 知之 (滋賀大学)
15:50~16:00	休憩		
16:00~16:50	セミ競合リスク・相関のあるエンドポイントへのアプローチ	50分	杉本 知之 (滋賀大学), 江村 剛志 (久留米大学)
16:50~17:00	休憩		
<b>セッション名：疑似値 (Pseudo-observations) による解析</b>			
17:00~18:00	疑似値による解析	60分	小向 翔 (大阪大学)
<b>12/9 (金) 午後</b>	<b>2 日目</b>		
<b>セッション名：生存時間に基づく臨床試験の計画と解析</b>			
9:00~9:30	ランダム化比較試験の中間解析：がん領域のプラクティス	30分	平川 晃弘 (東京医科歯科大学)
09:30~10:00	ランダム化比較試験の症例数設定と解析：がん領域のプラクティス	30分	野村 尚吾 (東京大学)
10:00~10:10	休憩		
<b>セッション名：標準的に用いられている解析方法の問題と代替法</b>			
10:10~11:10	重み付き log-rank 検定と RMST の基本的な性質	60分	長谷川 貴大 (塩野義製薬)
11:10~12:10	Applications and recent methodological developments of RMST (RMST の応用と最近の方法論の発展)	60分	宇野 一 (Dana-Farber Cancer Institute/Harvard Medical School)

### 3. 参加費

本セミナーに参加する方の参加費用は以下の通りです。

一般・会員：5,000円，非会員：10,000円（賛助会員は1名のみ会員参加費とする）

学生・会員：1,000円，非会員：4,000円

- ① 非会員の方が参加申込受付時に学会へ入会いただく場合は，会員参加として受付をします。入会については日本計量生物学会（<http://www.biometrics.gr.jp>）をご覧ください。
- ② 日本計量生物学会は，国際計量生物学会（The International Biometric Society）の日本支部としても活動しています。国際計量生物学会は，各支部から拠出される基金をもとに発展途上国の研究者の援助をしています。本セミナーへの参加費は，この基金への寄付金（一人当たり1,000円）を含みます。参加者各位には，この点をご理解いただいた上で，本セミナーの趣旨に賛同して参加いただいたものとさせていただきます。

### 4. 当日の参加方法

詳細は後日，メールでご案内します。（申し込みを事前にお願いたします）

### 5. 試験統計家認定更新のための単位認定と参加証発行

試験統計家認定の更新を申請される方は，有効期間内に30単位を取得する必要があります。本セミナーは“5単位”となっており，1/6を満たします。単位認定をご希望の方は，登録時に「試験統計家の単位認定の希望有無」の項目で「希望する」を選択してください。現地参加の方には，受付時に出席確認をします。オンライン参加の方には，当日Zoomのチャット機能を利用して，そこに提示したURLを押下していただくことで出席確認を行います。確認タイミングはセミナー1日目・2日目の各1回としますが，そのいずれかで確認できれば出席したものとみなします。後日，単位認定を希望し，出席確認された方に受講証をメールでお送りします。また，希望者には試験統計家認定とは別に参加証を発行します。出席確認は試験統計家認定の確認と同じくZoomのチャット機能を用います。

### 6. 問い合わせ先

日本計量生物学会事務局

[biometrics@sinfonica.or.jp](mailto:biometrics@sinfonica.or.jp)

当日の緊急連絡先は特設ポータルサイト内にて提示いたします。

※2022年12月9日（金）14時から同会場にて，計量生物学講演会が開催されます。

以上